



児童の健康への取り組みについて

公明党 戸澤 幸雄

問 子どもたちが健康に育ち、生き生きと生活することが私たちの願いであります。アレルギーや小児慢性特定疾病に指定されている小児がんなどの病気が、近年増加傾向にあることもまた現実であります。

そこで、アレルギーや小児慢性特定疾病、小児がんなど子どもたちの健康に対する取り組みについて伺います。

また、教育の現場でも対応が必要となつていないかと思いますが、その取り組みについても伺います。

答（市長）…市では、こどもセンターに保健師や栄養士、助産師などの専門職を配置し、保護者のさまざまな悩みや不安に対し、窓口や電話はもとより戸別訪問を行い適切な指導・助言に努めています。また、発達や病気などの心配があるお子さんに対しては、乳幼児健診などを通じて適切な指導・助言や精密検査の受診勧奨を行い、乳幼児の健全な発育を支援しています。

答（保健福祉部次長）…アレルギー対策としては、栄養士が常日頃からさまざまな相談に応じるとともに、離乳食講習会で必要なアドバイスを送っており、保育園や幼稚園でも、しっかりと除去食対応を行っています。小児慢性特定疾病として国が指定した756疾病については、県が医療費助成と相談事業を行っており、市も親身になって相談に応じるとともに、医療機関の早期受診を勧めています。

答（教育長）…学校では子どもたちの学習権を保障し、生き生きと学校生活を送れるように、病気や疾患のある子どもたちの保護者と連携を密に取り、必要に応じて医師の指示を受け、健康管理や緊急時の対応について教職員の共通理解を図っています。また、乳幼児期からの健康管理データを一本化するように連携を進めているところです。

その他の質問

・幼児教育について



学校応援団について

創志会 志野 誠也

問 えびなっ子スクールの通年開催について、市の見解を伺います。また、今年度の酷暑によってえびなっ子スクールが一部開催できなかった学校応援団がありました。来年度の予算が減額される可能性について伺います。

答（教育部長）…えびなっ子スクールは、各応援団の都合もあり、夏休み以外の開催が困難な場合があると承知しています。夏休み期間中は猛暑となるケースが多いことから子どもの安全面を第一に考え、できるだけ通年での開催をお願いしたいと考えています。予算については、今年度が特殊と考えているため減額とならないよう考慮します。

問 地域コーディネーターの負担軽減のために、えびなっ子スクールの実施方法の簡素化について、どのように考えるのか伺います。

答（教育部長）…時間短縮などのさまざまな工夫に加え、既存の団体との共同開催や地域の事業との同時開催なども考えられると思います。

問 学外での活動も対象にできるような活動認定要件の整理など応援団の声をよく聴き、活動が継続できるよう研究をお願いします。また、応援団の負担軽減が図られるよう活動支援に必要な予算の増額を要望します。

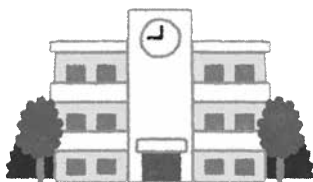
一方で、応援団の目的には教員の負担軽減という側面もあり、一層の対策が必要と考えますが、見解を伺います。

答（教育部長）…放課後の保護者対応が教職員の負担となっていることから、緊急通報の手段を確保した上で放課後の留守番電話対応など、保護者の理解を得ながら検討したいと思っています。

その他の質問

・少年消防クラブについて

・放子問題について



学校給食の現状と今後のあり方について

創志会 久保田 英賢

問 神奈川県の公立中学校の完全給食実施率は全国最下位です。柏ヶ谷中学校、大谷中学校での米飯給食の試行など新たな取り組みがされている中で、今後の中学校給食のあり方について、今の考えを伺います。

答（教育部長）…完全給食を否定するものではなく、市長も私も、最終的には自校方式の給食を全校で行うべきで、それが地域でも活用できるものになってほしいと思っています。かなりお金がかかるので市長部局と調整が必要です。

問 今の答弁を聞いた市長の考えをお伺いします。

答（市長）…学校の施設整備という観点で答弁します。教育委員会では今後の10年、20年先を見据えて、学校給食そのものが、教育という観点の中でどうあるべきかを十分検討していただき、その結果を踏まえ市長として判断していきたいと思っています。

問 教育委員会の検討の中で完全給食に向けた道筋ができるとしていますが、教育長の考えを改めて伺います。

答（教育部長）…小中学校の給食は、やはりもう再検討の時期だと感じています。例えば東柏ヶ谷小学校のランチルームがどれほど有効で、子どもたちが自校方式の給食をどれほどおいしいと感じているかを考えたときに、中学校の完全給食実施も含めた検討委員会を立ち上げて教育委員会としての結論を出したいと考えています。

問 市民の皆さんからしっかりアンケートを取り、その意見を反映した中で検討委員会を進めていただきたいと思いますが、いかがですか。

答（教育部長）…子どもたちと保護者、そして市民へのアンケートでさまざまな意見を聞いて、検討委員会の検討材料にすることが前提だと思っています。

その他の質問

・認知症高齢者対策の現状と今後のあり方について

・小中学校修学旅行の現状と今後のあり方について